

今週のメニュー

■トピックス

◇2020年度第1回 JERCO セミナー開催

■随想

◇サテライトオフィスの活用加速

サイバー大学客員教授 三吉 正芳

■編集後記

■トピックス

◇2020年度第1回 JERCO セミナー開催

VEC が共催している [JERCO（日本住宅リフォーム産業協会）](#) セミナー「2020年度第1回 with コロナ時代必見！住まいの空気環境オンラインセミナー『コロナ禍における住まいの環境を考える』」が10月5日（月）に開催されましたので紹介します。

昨年度まで支部単位で開催されていた JERCO セミナーが、今年度はコロナ禍で密を招くとの指摘から対面での開催が出来なくなり、Web で全国の会員向けに発信されることになりました。これまでのセミナーは、支部ごとにテーマを決めていただき、それに相応しい先生やメーカーを探して、依頼し講義していただくように支部の要望に応じてきました。しかし、今回は、全国向けの開催となることから、社会問題である「コロナ」にスポットをあてたテーマにすると同時に、著名で話が上手な芝浦工業大学 秋元孝之教授に多忙な時間を空けていただき「コロナ禍における住まいの環境を考える」と題したテーマで講義していただきました。また塩ビ製品の代表として株式会社LIXIL より、「住まいの空気環境向上リフォーム商品」を紹介いただきました。

秋元先生はご講演のセッションで以下のようにお話になりました。コロナ禍の中 COP21 において日本が提案した約束草案（2030年までに CO2 排出量を 26%削減（2013年度比））を達成するためにはどうしたらよいでしょうか。特に民生部門においては 4割削減の必要があるため、ゼロエネルギー住宅やビルの省エネ化・低炭素化が推奨されます。しかしながら高い目標であるにもかかわらず、新型コロナウイルスの脅威拡大が達成に水をさす結果となっています。

そんな中、図らずもコロナ禍により在宅勤務が増え、「働き方改革」「行動変容」が進んでいます。某ハウスメーカーと芝浦工大との共同研究では、コロナ禍での巣ごもり生活時の電力消費傾向と生活の変化について首都圏での電力消費量の分析をおこないました。それによると 2019年4月に比べ 2020年4月は月間電力消費量が 14%ほどの増加となり、40kWh（電気代約 1,060円）ほどの増加になっています。特に昼間の電気使用量が増加する傾向にあります。また洗濯などが朝から夜へと変位し夕食も 1時間ほど早くなっていま



秋元教授

す。こうしたことを加味して最も有効なエネルギー供給方式は、「太陽光発電」となります。電力量が最も多い昼に最も発電し、蓄電する必要もわずかである、太陽光を使った発電は、コロナ禍にある時は一番有効であると言えるでしょう。



「ZEBの実現のために」

次に、VEC と共同研究して作成した小冊子「[ZEBの実現のために](#)」では、窓断熱の重要性についていろいろ紹介しています。集合住宅において窓から外に出る熱が、アルミ窓だと40%ですが、樹脂窓にすると12%になり暖気を外に出さなくなります。また、アルミ製サッシ単板ガラスから樹脂製複層ガラスにした場合、断熱性能が約62%向上することが示されました。このように講義をなさった秋元先生は、「ZEBの手法として、太陽光発電など再生可能エネルギーの設置と効率の高い窓・冷暖房機・換気設備・照明器具・給湯機も併せて採用することにより、コロナ禍でも約束草案は達成できます」とまとめられました。

また、LIXILからは、人が1日に口にする空気量は20kg(ご飯100杯分)もあり、人が口にするものの80%にも当たるため、空気には特に気を付ける必要があること、換気不足になるとCO2濃度が上がり1,000ppmを超えると体調を崩す人が出てくるレベルとなってしまうこと、4人家族の場合、1日に10Lの湿気が発生するため高性能住宅であっても結露が発生しカビやダニの温床となり健康に悪い環境になってしまうこと等の紹介があったうえで、キッチンのレンジフードやバス換気扇などを活かして使うとよいとの提案がありました。なお、それらは排気をするだけなので、リフォームの際には、給気機能がある窓やドアを付ける必要があるとの指摘もありました。また、給気側の開口より高い位置に排気側の開口を設けることが良い自然換気につながると示され、その換気の熱ロスを新しい内窓でカバーすることも提案されました。



LIXIL 講演者

最後に感想ですが、ご講演の内容は非常に理解しやすかったと思います。しかしながらリアルのセミナーと違い会場の熱気が伝わりにくいことが課題で、講師の方が気持ち良く講演しやすいような工夫が必要ではないかと思いました。

⇒ [バックナンバー](#)

■ 随想

◇サテライトオフィスの活用加速

サイバー大学客員教授 三吉 正芳

自宅から最寄り駅前まで徒歩・バスで20分くらいの移動で「サテライトオフィス勤務」ができることは、「緊張感はあり、業務の効率アップもできる。通勤時間の往復約3時間が節約でき助かっている。健康維持にも良く、家族もみんな喜んでいる。」と、企業訪問の際のインタビューで聞きました。

パジャマから次の普段着に着替えて、通勤時間なしで、即、執務に入れる自宅でのテレワーク（在宅勤務）とは違い、いつもの出勤と同じ服装（背広、ジャケット、通勤用の靴等）でカバンにはノートパソコン、資料などを入れて家を出るのと同じスタイルです。面倒な点もありますが、これが緊張感にもなるようです。そして、必要に応じて、最寄り駅から、そのまま得意先への訪問や、本社・支社会議への出社も可能となります。

当然、本社・支社の賃借スペースは縮小が可能になります。オフィス賃借料、時間外勤務手当、定期券代、空調・照明の電気代など、「サテライトオフィス」との差額などの費用効果に加え、猛暑下での長時間通勤の解消で身体疲労なども減り、体調管理が出来やすくなることで、基本的な書類作成ミス発生などの削減につながるとの分析もされていました。

今後、コロナウイルス以後、急速に拡大して定着もしてきた「テレワーク」と同様に、以前から活用されていた「サテライトオフィス」はさらに注目されると考えられます。首都圏などで私鉄急行が停まる駅前ビル等で小さな部屋を借りて数人での仕事場とするか、大きな部屋で仕切りを設けて、いろんな会社の人たちとも一緒に使う、一人で行う仕事場とするか、多様な物件が開発されてきています。

今後は「シェアオフィス」という考え方も広がりつつあります。自宅や取引先と近い場所で、営業担当だけでなく、内勤者も一緒に仕事ができるオフィスを借りて、シェア活用をするという発想です。カーシェアリングと同じような考え方で活用と思われます。また、サテライトオフィス勤務では徒歩、バス、電車の利用も短い通勤時間で済むのが大きな利点ですが、さらに自転車通勤が見直されて来ています。体にも良く、いろんなコースも四季折々に体験できて、地元の自然に触れる喜びは新しい発見と聞きました。朝の出発時間に余裕ができ、帰宅時間も早くなるので、家族と触れ合う時間が増加して、育児、介護にも時間が取れるようです。さらには、趣味の講座や、資格チャレンジの講習参加などもする人が増えて来ていると伺いました。

コロナウイルス問題発生以後、テレワーク（在宅勤務）が増加してきて、それも50%くらいの社員は収束後も継続できるとの分析が報道されています。同時に、本社・支社などは縮小する流れにあると聞きます。そのなかで、サテライトオフィスは、中間的な意味あいのある注目すべき存在で、SDGs*の視点からも注目されると思われます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



※Sustainable Development Goals : 2015年の国連総会で採択された、2030年までの実現を目指す持続可能な開発目標で17の項目から構成されています。

その目標達成に向けて政府・自治体・企業などが積極的に取り組み中です。今回のテーマは、目標3「すべての人に健康と福祉を」、目標5「ジェンダー平等を実現しよう」、目標8「働きがいも、経済成長も」などが該当します。

⇒ [バックナンバー](#)

■ 編集後記

OVEC/JPEC はエコプロ Online 2020 に出展します！

2020年11月25日(水)～28日(土)までオンラインで開催される「[SDGs Week Online](#)」にVEC/JPECは共同出展します。身の周りの生活を支えているエコな素材・塩ビについて紹介しますのでご覧ください。

オンラインで見るためには「SDGs Week Online」のwebサイト(以下URL)から来場者登録が必要です。<https://eco-pro.com/2020/page/sdgs.html>

○「子供とためす環境まつり WEB版」公開中！

東京都中央区環境保全ネットワークが主催する「[第17回 2020年子どもとためす環境まつり WEB版](#)」～ネットを通して環境について学んでみよう！～が、インターネット上で公開されています。VECは「塩ビって なんだろう？」というタイトルで、塩ビが身近な存在で、地球や人にやさしい素材であることを紹介しています。以下のURLよりご覧ください。

<https://youtu.be/14OIR39MIpE>

○「おしごと年鑑2020」web版公開中！

VECが協賛している「朝日新聞おしごと年鑑2020」のweb版が「[おしごとはくぶつかん](#)」のサイトに公開されています。VECは「未来を生み出す科学技術のお仕事」のカテゴリーに、「食品サンプルは、何でできているの？」というタイトルで、塩ビが身近な存在で、エコな素材であることやリサイクルなどについて紹介しています。以下のURLよりご覧ください。

<https://www.oshihaku.jp/nenkan/page/13727321>

■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)

※本メールマガジン上の文書・画像等の無断使用・転載を禁止します。